

1 第2次佐賀市スポーツ推進計画の位置づけ

* スポーツ基本法第10条に規定する「地方スポーツ推進計画」

* 第2次佐賀市総合計画で定めた本市の将来像「豊かな自然と子供の笑顔が輝くまち さが」の実現に向け、本市のスポーツ推進のあり方を定めた「個別計画」

【国】第2期スポーツ基本計画

(2017年度～2021年度)

～スポーツを通じて幸福で豊かな生活を
営むことは、全ての人々の権利～

根拠・参考

第2次佐賀市総合計画

(2015年度～2024年度)

～豊かな自然と子供の笑顔が
輝くまち さが～

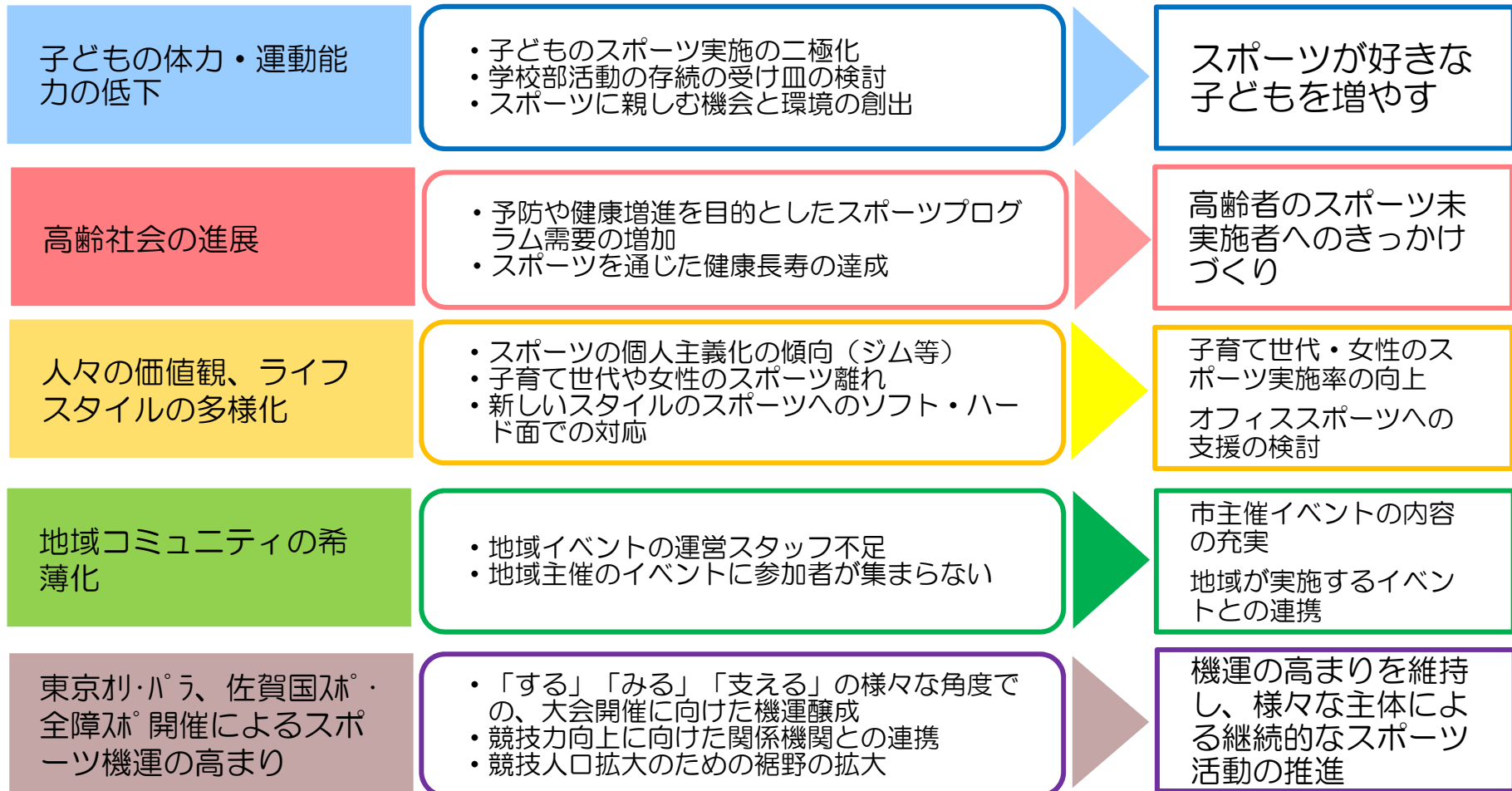
実現に向けた個別計画

第2次佐賀市スポーツ推進計画

【計画期間】2020年～2024年

2 スポーツを取り巻く本市の現状と課題

現状と課題



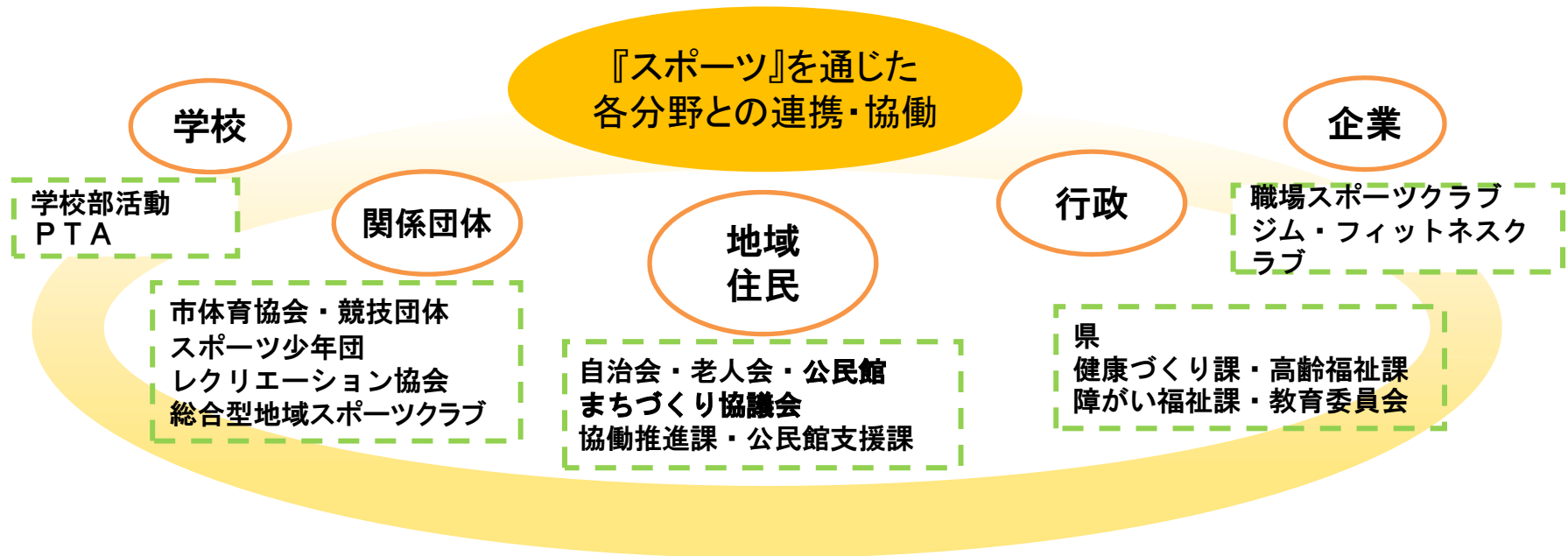
3-1 スポーツ推進の方向性

生涯を通じてスポーツができる社会の実現

市民のライフステージに応じた健康・体力づくりを進めるため、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツができる環境づくりを推進し、スポーツ実施者数を増やす。

スポーツを通じた住民主体のまちづくり

2023年開催予定の佐賀国スポ・全障スポを契機として、スポーツに対する機運を高め、さらに、スポーツで地域住民がつながることで、共生社会、健康長寿社会の実現、地域の活性化などを実現し、地域の課題解決に貢献する。



3-2 スポーツ推進の目指す姿（成果目標）

成果 目標

市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている

成果指標	単位	基準値 (2013)	現在値 (2018)	将来目標値 (2024)
日常的に（週に1回以上） 運動・スポーツをしている 市民の割合	%	48.5	50.6	60.0
追加提案 運動やスポーツが好きな小 中学生の割合	%	—	88.3	95.0

〈総合計画見直し（案）より〉

4-1 市民のスポーツに対する意識と活動の実態調査結果の主なポイント

「する」スポーツ

◆スポーツ実施率の低下

- ・年代別では、30・40代が低く、性別では女性の実施率が低く、前回調査より実施率が下回った。
- ・高齢者は、全体の実施率が高い傾向にあるが、約3割が全くスポーツを行っていない

◆スポーツを行っていない理由上位3つ

1. 仕事や家事・育児などに忙しい
2. 機会がなかったから
3. はじめるきっかけがないから

「みる」スポーツ

◆スポーツキャンプ等への誘致の是非についてとその理由

- ・63.6%が積極的に誘致すべきと回答
(理由) 地域が活性化するから スポーツに関心を持つ人が増えるから

「ささえる」スポーツ

◆スポーツボランティアの参加率 11.3%

4-2 市民のスポーツに対する意識と活動の実態調査結果の主なポイント

競技力の向上について

- ◆競技力向上のために不足しているもの上位3つ
 1. 指導者の質の向上
 2. ジュニアアスリート発掘・育成事業の充実
 3. 練習場所となる競技施設の確保

スポーツ施設について

- ◆施設を利用する時間帯
 - ・性別に関係なく「夜間」が最も多い。(今回は「午前」が最も多かった)
 - ・移動手段は、自家用車が最も多い
- ◆学校体育施設の利用
 - ・利用できることはある程度周知できているが、利用したことがある人は約3割
- ◆施設予約システムの利用
 - ・予約したことがあるのは全体で7.6%
 - 使ったことがない55.6%、初めて知った34%と認知度が低い。